

議題 1 行政経営改革実施計画の評価について

行政経営改革実施計画の評価について

(1) 評価の目的

行政経営改革実施計画の進捗状況を管理し、行政経営改革実施計画の取組項目を計画どおり実施すること。

また、外部評価においては、行政経営改革実施計画に対する評価の客観性、透明性を確保するとともに、外部の視点から調査審議し、進行管理の妥当性を検証しながら、必要に応じて助言をすること。

(2) 評価の対象

行政経営改革実施計画に位置付けする 52 の取組項目

(3) 評価の方法及び平成 31 年度スケジュール

時期	主体	実施内容
4月	所管課	「行政経営改革実施計画 進捗管理シート」(資料2)に、 ①取組目標②取組実績③評価・今後の方針・意見を記入する。
5月	行政経営 改革審議会	「行政経営改革実施計画 進捗管理シート」(資料2)に、 ③評価・今後の方針・意見を記入する。 ※評価の際は、効率的な審議とするため、審議会を2班に分け、 最終日に評価結果を共有し、審議会としての評価を決定する。
6月		<ul style="list-style-type: none"> ・5月上旬 審議1回目(2班に分け審議) ・5月下旬 審議2回目(評価結果を共有し、評価を決定) ・6月中旬 評価結果の答申
7月	行政経営 戦略会議	「行政経営改革実施計画 進捗管理シート」(資料2)に、 ③評価・今後の方針・意見を記入する。 ※1次評価及び2次評価をもとに、行政経営改革実施計画の進 捗状況に関する、市の「最終評価」を決定する。
8月	事務局	市は、行政経営戦略会議で決定した最終評価を、市ホームペ ージや情報公開コーナー等で速やかに公表する。
	所管課	最終評価により、計画の見直しが必要となった場合は、修正案 を作成する。
9月	行政経営 戦略会議	修正案を事務局が取りまとめ、本修正案を審議会で審議する ことの是非について、行政経営戦略会議に諮る。
10月	行政経営 改革審議会	修正案について、審議会が審議する。
11月	事務局	行政経営改革実施計画(31年度改訂版)を策定し、公表する。

議題2 行政経営改革実施計画の変更について

基本方針2 自立した行財政運営

4. 歳出の抑制

- ② 扶助費・補助金について、その対象や必要性、妥当性、有効性などを検証し、見直しを行います。

修正前

整理番号	2-4-②	項目名	扶助費・補助金の見直し	所管課	行政経営改革課 関係各課	
これまでの取り組み			・市は、補助金を見直す際の見直し基準を定めていたが、補助金を新設する際の基本方針を定めていなかった。			
これからの取り組み			・平成29(2017)年度に「白井市補助金のあり方の基本方針」を策定し、基本方針に基づき、5年ごとに、行政評価の一環として、全ての補助金の見直しを行う。 ・予算編成時に全ての補助金について、「白井市補助金のあり方の基本方針」に基づき、適切に運用しているかを確認する。 ・扶助費についても統一的な方針を示し、見直しを行う。			
目的			・扶助費・補助金を適正に執行するため。			
目標時期			随時			
実施内容				実施スケジュール		
				平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度
予算編成時の既存補助金の確認				→		
扶助費の見直しの検討				→		
扶助費の見直しの実施					→	
目標				効果		
平成30(2018)年度	<ul style="list-style-type: none"> 予算編成時の既存補助金の確認 扶助費の見直しの検討 		補助金の見直しによる削減効果額 平成30年度 490,000円 平成31年度 2,750,000円			
平成31(2019)年度	<ul style="list-style-type: none"> 予算編成時の既存補助金の確認 扶助費の見直しの検討 					
平成32(2020)年度	<ul style="list-style-type: none"> 予算編成時の既存補助金の確認 扶助費の見直しの実施 					
効果額				3,240,000円		

基本方針2 自立した行財政運営

4. 歳出の抑制

- ② 扶助費・補助金について、その対象や必要性、妥当性、有効性などを検証し、見直しを行います。

修正後

整理番号	2-4-②	項目名	扶助費・補助金の見直し	所管課	行政経営改革課 関係各課	
これまでの取り組み			・市は、補助金を見直す際の見直し基準を定めていたが、補助金を新設する際の基本方針を定めていなかった。			
これからの取り組み			・平成29(2017)年度に「白井市補助金のあり方の基本方針」を策定し、基本方針に基づき、5年ごとに、行政評価の一環として、全ての補助金の見直しを行う。 ・予算編成時に全ての補助金について、「白井市補助金のあり方の基本方針」に基づき、適切に運用しているかを確認する。 ・行政経営改革課と担当課等でヒアリングを実施し、市が任意に支出する扶助費について、ヒアリング結果を基に方針を示し、適正化を図る。			
目的			・扶助費・補助金を適正に執行するため。			
目標時期			随時			
実施内容				実施スケジュール		
				平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度
予算編成時の既存補助金の確認				→		
扶助費の見直し				→		
扶助費の見直しの実施					→	
目標				効果		
平成30(2018)年度	<ul style="list-style-type: none"> 予算編成時の既存補助金の確認 扶助費の見直し 		補助金の見直しによる削減効果額 平成30年度 490,000円 平成31年度 2,750,000円			
平成31(2019)年度	<ul style="list-style-type: none"> 予算編成時の既存補助金の確認 扶助費の見直しの実施 					
平成32(2020)年度	<ul style="list-style-type: none"> 予算編成時の既存補助金の確認 扶助費の見直しの実施 					
効果額				3,240,000円		